

平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月9日

上場会社名 株式会社アエリア 上場取引所 東
 コード番号 3758 URL http://www.aeria.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小林 祐介
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)上野 哲郎 (TEL) 03(3587)9574
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	2,269	58.1	436	—	427	924.4	229	—
28年12月期第1四半期	1,435	309.8	△34	—	41	—	△16	—

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 216百万円(—%) 28年12月期第1四半期 △92百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	29.80	29.57
28年12月期第1四半期	△2.16	—

(参考) EBITDA(営業利益+減価償却費+のれん償却額)

29年12月期第1四半期 577,269千円(339.9%) 28年12月期第1四半期 131,223千円
 のれん償却前四半期純利益(親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)
 29年12月期第1四半期 262,271千円(151.0%) 28年12月期第1四半期 104,504千円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	9,148	5,508	58.3
28年12月期	7,775	4,058	50.2

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 5,336百万円 28年12月期 3,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,100	54.1	1,700	—	1,800	—	1,200	—	159.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期1Q	8,073,348株	28年12月期	7,529,648株
29年12月期1Q	25,997株	28年12月期	25,997株
29年12月期1Q	7,709,888株	28年12月期1Q	7,503,687株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年1月1日～平成29年3月31日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続く中、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、世界経済の不確実性は高く、米国新政権の政策動向やEU諸国の今後の政治動向、金融資本市場の変動等の影響により、その先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが展開しているインターネット関連事業においては、スマートフォン・タブレット端末の普及に伴い、インターネット利用者数の増加やEC(電子商取引)市場の拡大等を背景として、引き続き成長を続けております。さらに、コンテンツサービスの多様化が市場規模を拡大しており、スマートフォン・タブレット等のモバイルコンテンツ市場においても継続的な成長を続けております。一方で、魅力的なコンテンツやアプリケーションを提供するため、サービス内容は複雑化・高度化する傾向にあるなど、開発費用や人件費等のコストが増加するだけでなく、企業間におけるユーザー獲得競争が一層激化しております。

このような状況の下、当社グループは、コア事業と位置付けるITサービス事業について安定した収益基盤を固め、コンテンツ事業においても、スマートフォン・タブレット等のモバイルコンテンツの開発事業及び配信・運営事業を強化するとともに、子会社各社の強みを生かし、これまでのマス・マーケットからターゲット層を絞ったニッチ・マーケットでの基盤を作り、展開してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高2,269,581千円(前年同期比58.1%増加)、営業利益436,696千円(前年同期は営業損失34,273千円)、経常利益427,660千円(前年同期比924.4%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益229,753千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失16,262千円)となりました。

また、EBITDA(営業利益+減価償却費+のれん償却額)は577,269千円、のれん償却前四半期純利益(親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)は262,271千円となりました。

なお、当社グループでは、M&Aを活用した事業基盤の強化や拡大を積極的に目指していくなかで、各国の会計基準の差異にとらわれることなく企業比較が可能なEBITDAを経営指標として採用しております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(ITサービス事業)

ITサービス事業につきましては、オンライン電子出版に特化したアフィリエイトプラットフォーム事業を行う株式会社ファーストペンギン、及びデータサービス事業を行う株式会社エアネットが安定した収益を獲得しております。

以上の結果、売上高は940,989千円(前年同期比2.1%減少)、営業利益は101,447千円(前年同期比20.1%増加)となりました。

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業につきましては、スマートフォン・タブレット向けゲームの開発、配信及び運営並びにオンラインゲームの配信及び運営、ドラマCDやボイスCD、キャラクターグッズの販売等を行っております。スマートフォン向けゲーム「A3!(エースリー)」の収益が好調に推移したことにより売上高、営業利益とも増加しております。

以上の結果、売上高は1,354,694千円(前年同期比178.8%増加)、営業利益は341,800千円(前年同期は営業損失114,969千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、9,148,074千円で、前連結会計年度末に比べ1,373,040千円増加いたしました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,524,721千円増加し、5,943,792千円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ151,681千円減少し、3,204,281千円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ61,929千円減少し、3,303,644千円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ14,782千円減少し、335,751千円となりました。

純資産につきましては、新株予約権の権利行使による新株発行及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い、前連結会計年度末に比べ1,449,752千円増加し、5,508,678千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、スマートフォン向けゲーム「A3! (エースリー)」の収益が好調に推移しており、第2四半期以降においても引き続き業績は堅調に推移していくものと予想しております。

以上を踏まえ、通期業績予想が、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回発表予想を上回る見込みとなったため、本日付で修正いたしました。詳細につきましては、平成29年5月9日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,061,763	4,098,197
受取手形及び売掛金	1,060,770	1,549,857
商品	68,213	69,531
仕掛品	8,987	20,152
繰延税金資産	57,882	25,436
その他	163,763	182,782
貸倒引当金	△2,311	△2,165
流動資産合計	4,419,071	5,943,792
固定資産		
有形固定資産	101,691	117,073
無形固定資産		
のれん	1,073,081	1,040,564
ソフトウェア	347,370	375,238
その他	157,273	152,528
無形固定資産合計	1,577,726	1,568,330
投資その他の資産		
投資有価証券	300,551	290,623
関係会社株式	257,747	250,739
長期貸付金	685,915	662,100
繰延税金資産	52,102	55,914
その他	473,653	352,984
貸倒引当金	△93,424	△93,483
投資その他の資産合計	1,676,545	1,518,877
固定資産合計	3,355,963	3,204,281
資産合計	7,775,034	9,148,074

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	393,416	436,693
短期借入金	228,487	278,031
1年内返済予定の長期借入金	253,207	258,425
1年内償還予定の社債	50,000	-
未払費用	128,133	98,142
未払法人税等	100,087	185,408
賞与引当金	28,986	15,673
預り金	1,930,494	1,712,100
その他	252,760	319,170
流動負債合計	3,365,573	3,303,644
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	148,405	158,212
繰延税金負債	126,990	96,657
役員退職慰労引当金	27,633	30,258
退職給付に係る負債	20,633	20,449
資産除去債務	16,586	19,952
その他	285	220
固定負債合計	350,534	335,751
負債合計	3,716,108	3,639,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	733,979
資本剰余金	5,482,245	6,070,567
利益剰余金	△1,780,396	△1,550,642
自己株式	△23,966	△23,966
株主資本合計	3,777,882	5,229,937
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,468	47,606
為替換算調整勘定	72,957	58,563
その他の包括利益累計額合計	123,425	106,170
新株予約権	13,768	4,305
非支配株主持分	143,849	168,265
純資産合計	4,058,925	5,508,678
負債純資産合計	7,775,034	9,148,074

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	1,435,979	2,269,581
売上原価	853,734	964,875
売上総利益	582,245	1,304,706
販売費及び一般管理費	616,518	868,009
営業利益又は営業損失(△)	△34,273	436,696
営業外収益		
受取利息	19,615	21,678
受取手数料	112,497	-
その他	20,046	4,240
営業外収益合計	152,158	25,918
営業外費用		
支払利息	2,353	2,585
為替差損	43,288	25,287
持分法による投資損失	28,846	4,238
その他	1,648	2,843
営業外費用合計	76,136	34,955
経常利益	41,748	427,660
特別利益		
固定資産売却益	157	-
投資有価証券売却益	-	408
特別利益合計	157	408
特別損失		
投資有価証券売却損	18,792	-
関係会社株式評価損	-	2,741
特別退職金	-	12,414
特別損失合計	18,792	15,156
税金等調整前四半期純利益	23,114	412,912
法人税、住民税及び事業税	39,525	175,801
法人税等調整額	△2,620	2,926
法人税等合計	36,905	178,728
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,791	234,184
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,471	4,430
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,262	229,753

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,791	234,184
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,837	△2,834
為替換算調整勘定	△27,110	△14,640
持分法適用会社に対する持分相当額	△31,985	△26
その他の包括利益合計	△78,933	△17,502
四半期包括利益	△92,725	216,681
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△95,196	212,498
非支配株主に係る四半期包括利益	2,471	4,183

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使による新株発行に伴い、資本金が633,979千円、資本準備金が633,979千円増加しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計 (千円)	調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	ITサービス (千円)	コンテンツ (千円)			
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	953,730	482,248	1,435,979	—	1,435,979
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,864	3,729	11,593	△11,593	—
計	961,594	485,978	1,447,573	△11,593	1,435,979
セグメント利益又は損失(△)	84,484	△114,969	△30,484	△3,788	△34,273

(注) 1. セグメント利益の「調整額」は、セグメント間取引消去△3,452千円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用△336千円によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、オンライン以外のコンテンツ割合が増加したことに伴い、従来の「オンラインコンテンツ事業」を「コンテンツ事業」へ名称を変更しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計 (千円)	調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注2)
	I Tサービス (千円)	コンテンツ (千円)			
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	931,628	1,337,952	2,269,581	-	2,269,581
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,360	16,742	26,102	△26,102	-
計	940,989	1,354,694	2,295,684	△26,102	2,269,581
セグメント利益	101,447	341,800	443,247	△6,550	436,696

(注) 1. セグメント利益の「調整額」は、セグメント間取引消去△2,827千円及び各報告セグメントに
帰属しない全社費用△3,722千円によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当第1四半期連結累計期間において、営業利益、経常利益及び親会社に帰属する四半期純利益を計上することができましたが、前連結会計年度まで継続して営業損失を計上していたことにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。しかしながら、当第1四半期連結累計期間において、営業利益、経常利益及び親会社に帰属する四半期純利益を計上し、かつ当第1四半期連結会計期間末において、現金及び預金と時価のある有価証券の合計額は4,321,760千円であり必要な運転資金を確保しております。なお有利子負債704,668千円(総資産の7.7%)を有しておりますが遅滞なく返済されており、財務面に支障はないものと考えております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。